

ひまわり(種子)



主な加害種: カワラヒワ、キジバト、スズメ

被害にあっているひまわりの頭花の様子だけでは、カワラヒワ、キジバト、スズメのどの種も加害している可能性がある。判別点としては、カワラヒワ、スズメは種子を割って食べるので、殻が地面に散乱するが、キジバトは丸呑みのため散乱しない。カワラヒワとスズメの判別は食痕からは難しい。



加害種: カワラヒワ

カワラヒワが頭花の上に乗って食べているところを直接観察した。カワラヒワは種皮をむいて食べるため下に種皮が散乱する。この圃場には多くのカワラヒワが来ていた。

撮影: 山口



加害種: キジバト

キジバトも頭花の上に乗って食べることができる。カワラヒワとの違いは種を丸呑みするため、種皮が散乱しない。

撮影: 山口



加害種: カワラヒワまたはスズメ

カワラヒワとスズメは種皮をむいて食べるため食べたところ(写真では頭花の上)や地面に種皮が散乱する。

撮影: 吉田

鳥によるひまわり食害(撮影 山口)



写真の鳥はカワラヒワ